支援プログラム

事業所名：ビーライトしんわ（単位1：グループ支援部門）

作成日 令和 7年 3月 14日

事業所理念	「かかわり合い」、「学び合い」、「育ち合い」を支えます！		
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたち同士がお互いにかかわり合い影響し合う集団力動を最大限に活用した、運動、協働、コミュニケーションをわかりやすく取り込みやすい形式で組み込んだ多種多様なオリジナル課題を提供します。 ・子どもたち同士がお互いに[見る]-[見られる]、[評価する]-[評価される]実感を通じて、対人関係や集団・社会行動への興味関心を引き出し高めながら、自己コントロールと対人社会スキルを意欲的に学ぶことをサポートします。 		
営業時間	平日 11:00~20:00	送迎実施の有無	あり
	学校休業日 8:30~17:30		
支援内容			
本人支援	健康・生活	<p>受入時には利用児童の心身の健康状態の把握、確認に努めます。不調、変調の自覚がうまくできず、情緒と言動のコントロールのむずかしさにつながりやすい児童への対応には特に配慮します。</p> <p>他児や支援者とのやりとりや反応のし方、活動課題への取り組み状況など、受入時の行動観察に努めます。一人ひとりの興味関心の志向性、指向性や選好性、向上心や挑戦意欲、対人社会状況への固定観念や苦手意識といった先入観などを検証し、心地よく安心して過ごせるようサポートします。</p>	
	運動・感覚	<p>身体づくりと動きづくりによって個人の協調運動の底上げをはかりつつ、ペアやグループでの協力、協同へと無理なく段階的に拡張していきます。他者の動向や様子、状態に応じて動きを調整し組み立て直すような試行錯誤に興味関心を向けて楽しみながら執り行えるようサポートします。</p>	
	認知・行動	<p>一人ひとりのものごとのとらえ方、わかり方、学び方、反応のし方などの特徴への理解を深めます。徹底的な「観察」から精度の高い行動・反応の「予測」を導き出し、現発達段階で適応行動をとるために必要となる非侵襲的な刺激・情報のコントロールや環境調整といった「制御」の提供と検証に努めます。</p> <p>誤った学習を避けながら、状況全体を見わたして展開を予測し前もって備えることの価値を高めることで、状況理解と状況に応じた望ましい行動を適正な方向性をもって学びとっていくことをサポートします。</p>	
	言語・コミュニケーション	<p>さまざまな場面での状況理解のあり方と欲求、要望、意向の理解に努め、周囲と問題を共有し解決するために必要なやりとりが成り立つようサポートします。状況の全体像と問題の整理、共感を得るための意向表明に必要な言葉と言回しの例示や代行、やりとりの過不足を補い受発信のタイミングをコントロールする仲介などを適宜行います。</p>	
	人間関係・社会性	<p>メンバー固定のグループ活動を通じて、子どもたち同士がお互いに対する興味関心、親近感、交流意欲、同調意欲を高めて、お互いに[見る]-[見られる]、[評価する]-[評価される]といった肯定的な相互参照が、適応的な言動の創出と共有といった適正な方向性をもって循環するようサポートします。</p>	
家族支援	<p>定期的な面談のほか、必要に応じて家庭での対応についてもサポートします。保護者グループ学習会（ペアレントトレーニング）や、関心の高いトピックでの講話＋ワークショップを開催します。</p>		
移行支援	<p>本人、保護者、各学校や企業、他事業所などの移行先からの要請に応じて、必要な情報提供を行います。</p>		
地域支援・地域連携	<p>本人、保護者、各学校からの要請に応じて、情報共有のほか、学校訪問による具体的なサポート方略の検討、提案を行います。</p>		
職員の質の向上	<p>関連分野・領域の研修受講を推奨し研修内容の事業所全体で共有をはかるほか、外部で研修講師を請け負う職員による勉強会を適宜開催します。</p>		
主な行事等	<p>祝日や長期休暇などの学校休業日に公共交通機関を利用した社会見学や体験学習のほか、季節に応じた工作やレクリエーションを企画、提供します。</p>		